

令和8年度 広島市まちづくり市民交流プラザ 第1回運営委員会 会議録

日 時 令和8年6月23日(火) 10時00分～12時00分

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）
北棟6階 マルチメディア実習室

出席者 （委 員）阿部委員、木谷委員、河野委員、藤原委員、脇谷委員
（プラザ）森原館長、久國主任、中原主事

開会

館長あいさつ

出席委員及び事務局（プラザ職員）の自己紹介

議事及び会議要旨

議事1 役員の選出について

運営委員の互選により選任しました。

運営委員長 脇谷委員

副委員長 阿部委員

議事2 令和8年度事業計画について

事務局から、令和8年度事業計画の主な事業について説明し、意見が交わされました。

令和7～11年度の5カ年計画に沿い、令和8年度は34事業を実施予定。前年度の振り返りを踏まえニーズに対応した見直しを行い、具体的な講座内容を企画。令和8年度に重点的に取り組む事業をピックアップして説明。

（〇運営委員 ・事務局）

・ ホームページの管理運営について

（関連話題）プラザ公式 Instagram の開設について

SNSを活用した情報発信として、Instagramを6月1日に開設。各所でのPRにより、フォロワー数は現在40名超へ増加。二次元コードを活用してフォロワー拡大に取り組む。Instagramを利用する若年層への情報拡散を期待する。

- Instagramについて、公民館や関係機関との相互フォローの推進を図り、当面はフォロワーを増やすことに注力するといひ。公民館職員がフォローしてくれると一気に増える。企業等社会貢献活動研究会等でもPRするといひ。フォロワーがフォロワーを呼ぶ。
- Instagramは、文字や写真の投稿だけでなく、リール（ショート動画）の活用でフォロワー以外の若者に届きやすくなるらしい。
- 施設認知拡大・集客増のために、HPやSNSの活用促進は欠かせない。他地区LMOの取組事例として、LINEで情報発信する際に詳細はHPへ誘導する形を徹底したところ、1日のHP閲覧数が格段に増えたという話がある。本来HPを閲覧する予定になかった人にも付録的に様々な情報を届けることができる。プラザInstagramの事業告知からもHPへの導線を行うことで、HP閲覧数増と施設PRを図ることができるのではないか。

・ わかもの相談事業について

- すでに連携を予定している大学以外にも、たくさんの大学が社会活動に結構積極的に関わっておられる。公民館運営審議会の委員長でもある修道大学教授にもアプローチしたらいいのではないか。学生との接点、学内外で社会参加する学生や人たちとよく関わりがある

ので、学生が巻き込めたらいい。

- 継続的な若者の居場所づくりを目指してということだったが、広島市社会福祉協議会でも学生ボランティアとか若い方の参加が課題のひとつになっている。少人数の集まりだけど学生の自主活動があり、今年度少し広げていくような形で、月1回とか定期的に沙龙的な情報交換の場を作っていけたらと考えている。大学との情報交換会や若者に向けた取組みの情報交換会など、社協とプラザも相談や連携しながら、それぞれがいい形で進めていけるといい。
- 大学のボランティア窓口の部署等とも、かつては情報交換会とかしてつながりもあったが、ここ数年開催されてなく、少し疎遠になっている感じがする。
 - ・ 昨年度は市社協ボランティア情報センターが、学生カフェトークを実施された際には学生7人が集まり、自分たちで活動を立ち上げてボランティア運営していくための会合なども行われていた。プラザのボランティア相談会でも、学生カフェトークで集まった学生たちが今後自分たちのボランティア活動を広報する手段として SNS の活用・展開について学ぶ場を作った。ボランティア情報センターとプラザの連携は今後も続けたいと考えている。
- ・ まちかどコンサートについて
 - 年4回、昨年と同じ回数で決まっているようだが、音楽系の事業は集客率が高い。いわゆる社会のニーズが高いといえる。集客率が高い音楽を利用して、人が集まる場が作れると、そこにコミュニケーションが生まれる。例えば、紙芝居の上演も、その場の皆さんとコミュニケーションを図るための手段として紙芝居を使っているもので、コンサートもニーズに対応して臨時的に回数を増やすことを考えてみるというのでは。
 - 社会のニーズという点では、参加型・体験型プログラムもいい。紙芝居であれば、会場のお客さん何人かにセルフを言ってもらい、音楽であれば、楽器の説明を聞いたり、演奏体験ができたりするとか。演奏者に頼んで、練習用の楽器に少し触れさせてもらったり、奏でさせてもらったりできると、参加者は聴くだけ以上に自分の思い出として幸せ感が高まるのではないかと思う。
- ・ その他
 - 公民館運営審議会にも関わっているが、公民館でも非常にいい取組みをしている。一方で、公民館で行われるまちづくりの取組みとこちらプラザでの取組みがあまりよくつながっていないような感覚がしている。例えば、プラザの事業計画は、公民館の職員の目にも触れているのか。
 - ・ 公表はしている。理事会・評議員会資料等ですべて見れるようにはなっている。積極的に見ているかという点、そこまではないかもしれない。
 - 公民館の年間計画でも同じような項目で同じような事業が並んでくる。そこがリンクや連携ができるようなつながりに発展すると思う。行き着く先はいい感じで淘汰されていって、あれもこれもみんながやるんじゃないくて、つながったものは集約されたり、新たな動きが出てきたりすればと思う。

議事3 まちづくり市民交流フェスタ2026について

事務局から、資料2により説明を行い、協議や意見交換等が交わされました。これを踏まえて、第1回実行委員会に向けて準備を進めていくこととなりました。

(○運営委員 ・事務局)

広報・制作スケジュール

- 告知チラシのデザインについて、どこでも所狭しと並べてチラシは置かれる。上部または片側しか見えていない状態で置かれることも多い。棚配置を想定したレイアウトと、黄と白の

色の組合せなど見えづらい配色の改善を検討していただきたい。楽しみがもっと思いつきりバンと前に出てくる感じのチラシになると嬉しい。

その他

- フェスタ当日渡り廊下に展示される袋町小学校1・2年生の作品について、保護者含め学校関係者への周知がどの程度されているのか？昨年度、我が子の作品が飾ってあることを知らなかったという保護者の声があった。
 - ・ 小学校からのお知らせがあったか無かったか不明だが、今年度も展示の協力は依頼するので、保護者等への展示のことを伝えてもらえるよう、小学校へ働きかけをする。
- フェスタについてもだが、この運営委員会そのものに小学校の先生を招くことはできないのか？小学校との連携を取るためには必要かと。ただ、プラザが全市施設なのでどうなのだろうか。
 - ・ 1つ思っているのは、袋町LMOが立ち上がり、LMOの所属団体として、小学校（校長、教頭）や地域団体等が多数集まっておられる。今後、プラザもLMOと密接に関わりたいと思っている。昨年、社協会長にその話をさせてもらって、事務局の方ともフェスタで絡んでみたいねという話もした。まだ今年度の具体的な話はしていないが、今後LMOとの関わりで学校とも連携が進められればと思っている。
- 袋町学区、袋町小学校との連携で大丈夫か？全市施設だから他地区がどう思われるかも気になる。
 - ・ フェスタ＝地元で賑わうイベントということであれば、袋町小学校の子どもたちがたくさん遊びに来てくれることはいいことだと思う。袋町小学校や地元の子どもの盛り上がりをきっかけに他地区の小学校や団体も参加したいと輪が広がっていくことは願うところだ。

議事4 まちづくり市民交流フェスタ2027の日程について

事務局から、今後の方針を提案した。より一層の集客に向けて、開催時期の見直しも含め、参加団体等の意見を聞きながら検討を進めることでご理解いただき、次回運営委員会でも協議することになりました。

その他情報交換

（○運営委員 ・事務局）

- 広島駅前の福屋にはRCC会議場ができた。中央図書館もできた。全国や広域から集まる会合にはすごく便利なところにある。また、リモート会議も増えて、施設をあまり利用しなくなった感がある。プラザの業務には、事業と貸館業務、この2つの仕事があると思うが、コロナ以降、随分と利用が落ちた状態で、どうこの貸館業務を維持させているのだろうかと気にかかっている。施設利用料金による収入も予算の中に含まれていると思うが、収入が減り予算が減っていき、フェスタ等こういった事業そのものができなくなるっていくのでは、いやそれは困るなど心配している。何かお役に立てることはあるか。
 - ・ プラザの存在を広めていき、様々な活動に参加してもらい、有料施設を借りていただくようになっていけばいいと思う。フェスタも、もっと人が増えたら、ボランティアをする方も増えて、有料施設が隙間なく埋まれば、プラザも更にやりたいことができる。
- 令和7年度からの5年間も指定管理者として運営していくが、1年間の予算が決まっている。指定管理料に加えて利用料金等収入で賄っており、集客が減れば減るほど厳しくなる。今事務室は空調の故障により、一昨年からバケツやタライで水漏れを受けながら、仕事している状況。渡り廊下の天井も剥がれたまま、これを修理する予算も今はない。築23年経過し日々修繕箇所が増えていくという厳しい状況が続く。そもそも維持修繕費も年間で数十万

程度しかないので、非常に厳しい。100 万円以上の修繕になると、市の予算で修繕する協定になっているが、市の財政状況も厳しいため、なかなか修繕できていないのが実情である。

- 交流プラザは有料で貸すことが多いのか
 - ・ フリースペースを除いて、諸室は原則有料で貸し出している。
- 市社協が入る総合福祉センターも指定管理事業だが、大半は目的内利用だから無料で貸す前提。空きがあれば有料で使えるような扱いである。無料で使う団体が圧倒的に多い。コロナ以前のように利用は戻っていない。おっしゃる通り、ハイブリッドで会議するとか、Zoom を使うとか、部屋利用人数は増えていない。利用者数が戻らないのは悩みの種。指定管理の関係で年間利用者数の目標値が設定されていてクリアしたかどうか聞かれるが、なかなか達成できない。
- プラザは施設利用料として入ってくるお金が予算に反映されるから、さらに厳しい状況とお察しする。
- 例えば全国で人気の宿と言われところは、どこも居心地がいい。何で居心地がいいかと思うと、ちょっとしたことだけど、部屋に入ったら折鶴や清掃した方のコメントが置いてあったりする。今ではどこでもあるが、人気のところを真似て広がっている。ちょっと変えることによって少し売れて、またちょっと変えることで少し売れて、この波がだんだん大きくなるのかなと思う。ちょっとずつできる範囲で、いいところは真似て変えていくといいと思う。
- 関連して、地域の人に使ってもらうには駐輪場は結構大切。袋町の地下駐輪場に置いて施設を利用することを考えると、敷地内にパッと駐輪できる集会所を借りようかと考える。文句じゃないけど、部外の人であれ欲しいよねと言った声や気づきは改善のヒントだと思う。
- 利用日当日の予約の場合は利用料金が安くなるとかお得な情報はもっと発信した方がよい。
- 南棟 1 階ロビーについて、夏場はクールシェルターになっていてどうぞお入りくださいとなっているが、中に入っても実際座って休めるところがあまりない。昔から思っていたが、入っても緊張する雰囲気ですてやかさがない。入口が無機質で、ロビー、人を招き入れるところではない感じで、役所みたいで居心地がいいと思ったことがない。クールシェルターの時期限定でも、地域の人とか、道行く若い人とか、ただただ休憩目的の人でもロビーに招き入れることができると、プラザのことが知ってもらえるかもしれない。
- プラザが難しいイメージがある。用事がないと絶対に足を踏み込む場所ではないと思っている。
- 毎日のように利用している者からすると、すごく新しい視点。こういう風にしてほしいとか苦情ではないけれど、苦情は新たな発展につながることもあるので大事な意見。
- 会議室とか有料施設については、企業等社会貢献活動研究会などの企業が集まる会合で PR しているのか。どうぞご利用くださいといった宣伝はしているのか
 - ・ プラザの利用案内（パンフレット）などをお渡しして紹介はしている
- 企業も社会貢献の視点で、地域とのつながりという視点で、地元施設のプラザを使ってもらえるといい。ぜひ、フェスタのパンフレットも企業さんへも配っていただき、PR していくといい。

次回・第 2 回運営委員会は 1 2 月 1 5 日（火）15 時 30 分から開催予定

閉会